

室蘭工業大学

2022 年度新入生アンケート

集計結果報告書

2022 年 9 月

目次

1. 調査の概要	3
2. 調査結果の要約	4
3. 調査集計結果	7
I. 受験・入学について	7
問1 大学進学の原因	7
問2 本学を知るきっかけとなった広告媒体	8
問3 受験を決めた時期	9
問4 本学を選択した理由	10
問5 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度	12
問6 本学受験や入学前に、知っておきたかったこと(自由記述)	13
問7 本学受験の入試区分	13
問8 入学の際の現役・浪人等の区分	14
問9 第一志望の是非と他に受験した大学・学部等	15
II. 学生生活・教育環境について	17
問10 窓口・学生サービス等の満足度	17
問11 問10以外の大学側のサポート(支援)体制・サービス内容・メニュー	18
問12 学習支援の仕組みやサービス、施設・教育機材等の満足度	19
問13 本学の情報化への対応の印象	20
III. 海外留学・進学の意向と遠隔授業・学生生活全般	21
問14 海外留学への興味	21
問14付問 海外留学の期間	22
問15 大学(学士課程)卒業後の大学院への進学意向	23
問16 遠隔授業の内容、全体の満足度	24
問17 遠隔授業で良かった点	25
問18 遠隔授業で困ったこと	26
問19 学生生活において不安なこと	27
問20 今後の大学からの支援に望むこと	28
問21 入学から現在までの総合的な満足度	29

[別冊]設問別自由記述

1. 調査の概要

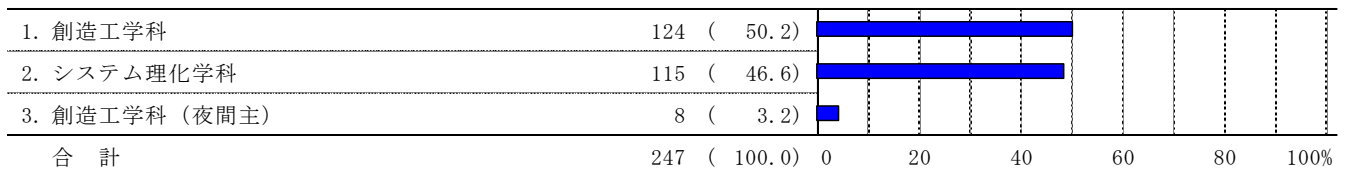
① 実施時期:令和4年(2022年)6月22日(水)~8月19日(金)

② 対象:室蘭工業大学1年生 623名

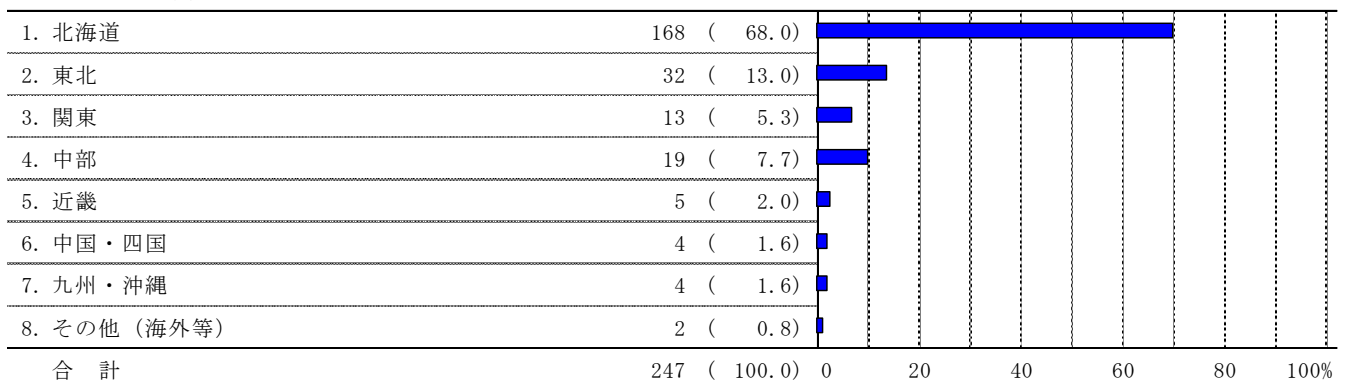
③ 回答・回収状況:247票(回収率:39.6%)

④ 回答者内訳

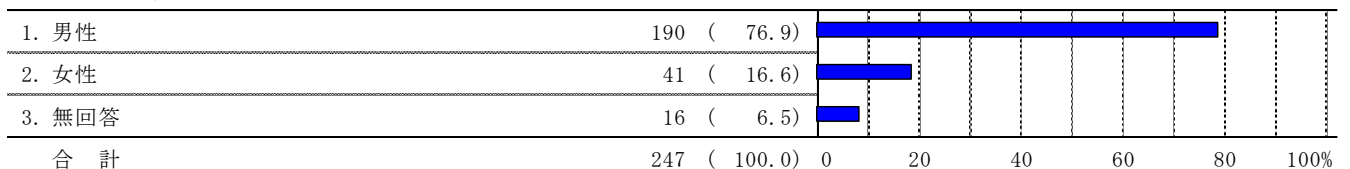
(1) 所属学科



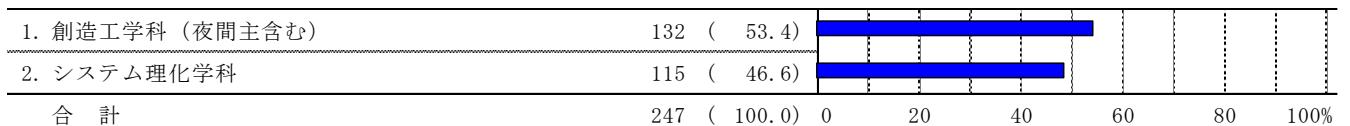
(2) 出身高校所在地



(3) 性別(任意項目)



(4) 所属学科



※学科別クロス集計は創造工学科(夜間主)8票を創造工学科に含め132票、システム理化学科115票で行っている。

2. 調査結果の要約

I. 受験・入学について

問1 大学進学の原因

大学進学を考えた理由について全体として30%以上の項目は「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」(72.5%)、「社会に出たとき、学歴が必要だと思ったから」(55.1%)、「自分のしたいことを探すため」(36.8%)、「専門的な研究をしたいから」(31.6%)となっている。

問2 本学を知るきっかけとなった広告媒体

本学を知る機会となった広告媒体の上位6項目(10%以上:本文網掛け)は、全体としては高い順に「大学受験情報サイト」(36.8%)、「大学案内パンフレット冊子」(33.2%)、「公式webサイト(モバイルサイト含む)」(28.3%)、「オープンキャンパス」(15.4%)、「受験雑誌の記事・広告」(15.0%)、「学校で開催された大学説明会」(13.8%)となっている。

問3 受験を決めた時期

本学受験を決めた時期は、「高校3年生(大学入学共通テスト後)」(38.5%)、「高校3年生(大学入学共通テスト前)」(28.7%)で、高校3年生の時に決めたという回答が67.2%を占めている。

問4 本学を選択した理由

進学や受験時に本学を選んだ理由20項目の中で、全体として「決め手になった」のが50%以上の項目は、高い順に「入試の難易度が自分に合う」(78.9%)、「学科・コース構成」(74.5%)、「自分自身の希望」(72.9%)、「卒業生の就職先や就職率」(59.9%)、「自分に適した入試制度がある」(57.1%)、「周囲の薦め」(52.6%)となっている。

問5 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度

受験時の本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度についての回答結果で、全体として「受験を決めるうえで参考にした」のは42.9%、「アドミッション・ポリシーがあることは知っていたが、参考・活用しなかった」が47.8%、「アドミッション・ポリシーがあることを知らなかった」のは9.3%となっている。

問6 本学受験や入学前に、知っておきたかったこと(自由記述)

入学前に、知っておきたかったことについては、「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問7 本学受験の入試区分

受験の際の入試区分については、全体としては「前期日程」が39.3%となっている。

「総合型選抜Ⅰ」、「総合型選抜Ⅱ」を合わせた割合は25.1%である。

問8 入学の際の現役・浪人等の区分

全体としては現役での入学が91.5%となっている。本文では6年間の経年変化も掲載した。

問9 第一志望の是非と他に受験した大学・学部等

「本学は第一志望でしたか」との設問に、全体としては「第一志望だった」(65.2%)、「第二志望以下だった」(34.8%)という回答結果であった。創造工学科とシステム理化学科で差異もある。

II. 学生生活・教育環境について

問10 窓口・学生サービス等の満足度

窓口や学生サービス等については、「利用したことがない」割合にバラツキが見られ、学生の入学以後の利用状況が概観できる。全体としてみれば各窓口・学生サービスともに普通以上の満足度となっているといえよう。

問11 問10以外の大学側のサポート(支援)体制・サービス内容・メニュー

問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューが「充分である」と答えた学生の割合は23.5%、「普通」50.2%を加えると73.7%となっている。

問12 学習支援の仕組みやサービス、施設・教育機材等の満足度

学習支援サービスや施設・教育機材等の満足度については、項目により「利用したことがない」学生も多い。〈利用者だけの回答割合〉でみると、「満足である」「普通」を合わせた「肯定的意見」の割合は、図書館関連以外の満足度は概ね94%以上となっている。

尚、図書館についての利用者が少数なこと、利用者の満足度が低いのはリニューアル工事のためだと推測される。

問13 本学の情報化への対応の印象

本学の情報化への対応(各種案内や手続きの電子化)について、「進んでおり利便性を感じる」という学生は全体として57.1%、「遅れていて不便である」という否定的回答の割合は3.6%である。一方、「わからない」という回答が39.3%ある。

III. 海外留学・進学意向と遠隔授業・学生生活全般

問14 海外留学への興味

海外留学への興味について、全体として「興味がある」と回答した学生は32.0%。経年変化でみると2019年度39.3%まで上昇、昨年(2021年)度は37.4%であった。

問14付問 海外留学の期間

海外留学への興味があると回答した学生についてのどのくらいの期間の留学について関心があるかを聞いた付問である。もっとも興味があるのは、全体としては「2週間以上1か月未満」(31.6%)、次いで「6ヶ月以上1年以内」(22.8%)、同率で「1ヶ月以上3ヶ月未満」(22.8%)となっている。

学科により関心のある期間に差異もみられる。

問15 大学(学士課程)卒業後の大学院への進学意向

大学(学士課程)卒業後に大学院へ進学したいと考えている割合は、全体としては39.3%。創造工学科41.7%、システム理化学科36.5%である。

進学したくないと回答した理由については、全体としては「早く就職して社会で活躍したいから」71.4%、「経済的な理由」22.9%となっている。

問16 遠隔授業の内容、全体の満足度

新型コロナウイルスの影響で実施に至った遠隔授業の内容、全体の満足度に関して、全体として「満足」+「やや満足」との回答は 64.8% (前年度 65.0%)、「満足」+「やや満足」+「普通」でみると 93.1% (前年度 91.7%)となっている。

問17 遠隔授業で良かった点

新型コロナウイルスの影響で実施に至った遠隔授業に関して良かった点について、選択割合が高い上位 3 項目は「自宅で学習できる」(76.5%)、「自分のペースで学習できる」(63.6%)、「復習ができる」(44.1%)となっている。

問18 遠隔授業で困ったこと

新型コロナウイルスの影響で実施に至った遠隔授業に関して困ったことについて、選択割合が高い上位 3 項目は「集中力が続かない」(59.5%)、「先生に質問がしにくい」(23.1%)、「教材が分かりにくい」(21.1%)と続いている。

問19 学生生活において不安なこと

新型コロナウイルスの影響下で学生生活を送っている学生の不安項目については、選択割合が高い順に「将来の進路の不安」(45.7%)、「学修の遅れ」(40.9%)、「友人を作れない」(25.9%)、「クラスメートからの情報が得られない」(23.1%)、「経済的な不安」(19.8%)となっている。

問20 今後の大学からの支援に望むこと

今後、大学からどのような支援を望みますかという設問に関しては、選択割合が高い順に「授業料の免除」(44.9%)、「大学内でのアルバイトの案内(ワークスタディなど)」(30.0%)、「学生への細やかな相談対応(チューター制度など)」(22.3%)、「遠隔授業のための受講環境支援」(14.2%)、「授業料の徴収猶予」(6.9%)となっている。

問21 入学から現在までの総合的な満足度

本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度にメリハリをつけて 10 段階で聞いた設問について、全体として最も選択割合が多いのは「レベル 8」(30.8%)、次いで「レベル7」(24.3%)、「レベル 6」(14.2%)となっている。また、2 区分した場合の高いレベルになる「レベル6」以上は 79.8%となっている。

以上

<掲載図表の数値表示について>

報告書掲載の図表内数値の合計については Excel での計算となっているため、以下例示のように小数点 1 位までの表示合計と 0.1 の差異がでる場合がある。

(図表内数値の合計表示例) : 「満足である」+「普通」=「肯定的意見」

問11. 本学における仕組みや施設・教育機材等についての満足度

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	無回答	小数点1位までの表示上の合計	肯定的意見
8. 図書館の施設・設備	39.6	48.8	3.8	3.3	4.4	88.4	88.5
10. PC、プロジェクター等の教育機器	25.3	57.2	6.3	6.6	4.6	82.5	82.6

Excel上で計算された値

3. 調査集計結果

I. 受験・入学について

問1 大学進学の原因

大学進学を考えた理由について30%以上の項目に網掛けをしている。

全体として30%以上の項目は「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」(72.5%)、「社会に出たとき、学歴が必要だと思ったから」(55.1%)、「自分のしたいことを探すため」(36.8%)、「専門的な研究をしたいから」(31.6%)となっている。

経年比較は設問項目が同じ2019年度以降で行っている。2021年度調査で30%を超えた「幅広い教養を身につけたいから」の項目は、今回調査では27.9%となっている。

問1. 大学進学を考えた理由は何ですか（複数選択可）

	1. 勉強がのし 仕事に役 立ち	2. 社歴が必 要だと 思っ、 学	3. 資格か 免許を 取得し	4. 幅広い 教養を 身に つ	5. 専門的 な研 究を した	6. はす ぐ安 に社 会に 出 るの	7. 学生 生活 や課 外活 動	8. 自分 のた いこ とを
全体[247]	72.5	55.1	28.7	27.9	31.6	23.1	20.2	36.8
創造工学科[132]	77.3	51.5	38.6	25.0	30.3	21.2	20.5	26.5
システム理化学科[115]	67.0	59.1	17.4	31.3	33.0	25.2	20.0	48.7

<経年比較>

問1. 大学進学を考えた理由は何ですか（複数選択可）

	1. 勉強がのし 仕事に役 立ち	2. 社歴が必 要だと 思っ、 学	3. 資格か 免許を 取得し	4. 幅広い 教養を 身に つ	5. 専門的 な研 究を した	6. はす ぐ安 に社 会に 出 るの	7. 学生 生活 や課 外活 動	8. 自分 のた いこ とを	9. 無回 答
2019年度[590]	61.2	56.3	26.4	21.7	33.1	20.0	21.7	39.3	0.3
2020年度[107]	59.8	57.9	29.0	29.9	30.8	24.3	18.7	38.3	—
2021年度[326]	73.3	61.0	29.8	31.0	35.0	27.6	29.8	46.3	—
2022年度[247]	72.5	55.1	28.7	27.9	31.6	23.1	20.2	36.8	—

問2 本学を知るきっかけとなった広告媒体

本学を知る機会となった広告媒体の上位6項目(10%以上:網掛け)は、全体としては高い順に「大学受験情報サイト」(36.8%)、「大学案内パンフレット冊子」(33.2%)、「公式webサイト(モバイルサイト含む)」(28.3%)、「オープンキャンパス」(15.4%)、「受験雑誌の記事・広告」(15.0%)、「学校で開催された大学説明会」(13.8%)となっている。

2020年度設問項目が変更されたが、2019年度と比較すると「公式webサイト」、「大学案内パンフレット冊子」の割合が減少傾向、「大学受験情報サイト」の割合が増加傾向にある。

尚、「オープンキャンパス」の減少は、昨年度の新型コロナウイルス感染対策による影響も想定される。

自由記述の個別記載事項は【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

問2. 本学を知るきっかけになった広告媒体は何ですか(複数選択可)

	1. 公式webサイト含む	2. 大学案内パンフレット	3. 受験雑誌の記事・広告	4. 大学受験情報サイト	5. 学校説明会開催された大学	6. 大学以外で開催された大学	7. 高校訪問型模擬講義(出校前訪問)	8. 大学訪問	9. オープンキャンパス	10. 新聞記事・広告	11. テレビCM	12. 札幌駅地下の電子広告	12. YouTube動画に公開
全体[247]	28.3	33.2	15.0	36.8	13.8	2.0	2.4	4.0	15.4	7.3	0.8	1.2	4.9
創造工学科[132]	24.2	33.3	18.2	40.2	9.8	2.3	1.5	5.3	12.1	4.5	0.8	1.5	6.8
システム理化学科[115]	33.0	33.0	11.3	33.0	18.3	1.7	3.5	2.6	19.1	10.4	0.9	0.9	2.6

<経年変化> ※設問項目は年度により変更されているので比較可能項目で行っている。

問2. 本学を知るきっかけになった広告媒体は何ですか(複数選択可)

	1. 公式webサイト含む	2. 大学案内パンフレット	3. 受験雑誌の記事・広告	4. 大学受験情報サイト	5. 学校説明会開催された大学	6. 大学以外で開催された大学	7. 高校訪問型模擬講義(出校前訪問)	8. 大学訪問	9. オープンキャンパス	10. 新聞記事・広告	11. テレビCM	12. 札幌駅地下の電子広告	13. YouTube動画に公開	14. 高校訪問型模擬講義
2017年度[608]	48.5	50.7	15.6	25.7	5.8	2.1	1.6	—	9.4	2.0	—	—	—	0.2
2018年度[623]	50.1	52.0	14.6	27.4	5.3	1.6	1.1	—	10.8	1.9	—	—	—	0.3
2019年度[590]	59.7	55.9	12.9	27.1	7.6	2.7	2.2	2.0	18.1	1.9	0.3	0.5	—	—
2020年度[107]	29.0	47.7	19.6	36.4	15.9	5.6	2.8	7.5	20.6	12.1	0.9	0.9	2.8	—
2021年度[326]	34.7	42.0	14.1	39.0	22.1	2.1	5.2	4.6	12.6	9.5	0.6	0.6	4.0	—
2022年度[247]	28.3	33.2	15.0	36.8	13.8	2.0	2.4	4.0	15.4	7.3	0.8	1.2	4.9	—

問3 受験を決めた時期

本学受験を決めた時期は、「高校3年生(大学入学共通テスト後)」(38.5%)、「高校3年生(大学入学共通テスト前)」(28.7%)で、高校3年生の時に決めたという回答が67.2%を占めている。

経年変化で6年分を鳥瞰すると「高校2年」の時に本学受験を決めたという割合が微増傾向にあるとも言える。(2017年度:12.5%~2021年度18.7%、2022年度16.6%)

問3. 本学受験を決めたのはいつ頃ですか

	高校入学前	高校1年	高校2年	高校3年 (大学入学共通テスト前)	高校3年 (大学入学共通テスト後)	その他
全体[247]	3.2	6.5	16.6	28.7	38.5	6.5
創造工学科[132]	4.5	6.1	16.7	27.3	37.9	7.6
システム理化学科[115]	1.7	7.0	16.5	30.4	39.1	5.2

<経年変化>

問3. 本学受験を決めたのはいつ頃ですか

	高校入学前	高校1年	高校2年	高校3年 (センター試験受験前)	高校3年 (センター試験受験後)	その他	無回答
2009年度[537]	1.3	5.4	16.9	31.1	35.6	9.7	—
2010年度[589]	2.7	5.4	15.6	24.3	43.0	8.5	0.5
2011年度[562]	1.8	6.0	13.3	28.1	36.7	11.9	2.1
2012年度[502]	1.8	5.2	12.7	29.3	39.8	10.6	0.6
2013年度[559]	2.9	5.7	15.6	24.0	44.5	6.6	0.7
2014年度[618]	1.8	5.0	13.3	30.9	40.5	8.3	0.3
2015年度[602]	2.5	6.6	14.5	31.7	38.9	5.6	0.2
2016年度[591]	1.9	3.9	13.9	27.1	46.2	6.9	0.2
2017年度[608]	2.1	5.1	12.5	24.2	43.6	11.3	1.2
2018年度[623]	3.4	5.3	13.2	26.3	41.1	10.0	0.8
2019年度[590]	3.2	5.4	14.7	28.5	38.8	9.3	—
2020年度[107]	—	7.5	15.9	28.0	39.3	9.3	—
2021年度[326]	3.4	6.4	18.7	29.8	35.0	6.7	—
2022年度[247]	3.2	6.5	16.6	28.7	38.5	6.5	—

※2022年度より(センター試験)名称は(大学入学共通テスト)に変更となっている。

問4 本学を選択した理由

下図表は、進学や受験時に本学を選んだ理由 20 項目についての回答結果一覧である。

全体として「決め手になった」のが 50%以上の項目は、高い順に「入試の難易度が自分に合う」(78.9%)、「学科・コース構成」(74.5%)、「自分自身の希望」(72.9%)、「卒業生の就職先や就職率」(59.9%)、「自分に適した入試制度がある」(57.1%)、「周囲の薦め」(52.6%)となっている。

次ページに同集計を「決め手になった」割合が高い順に並べ替えたものを掲載した。

自由記述の個別記載事項は「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問4. 本学受験の決め手となったのは何ですか

	合 計	1. 決め手になった	2. 決め手にはなら なかった	3. 詳しくは知らな かった
A. 大学のブランドやイメージ	247 (100.0)	82 (33.2)	76 (30.8)	89 (36.0)
B. 大学ランキングにおける評価	247 (100.0)	41 (16.6)	113 (45.7)	93 (37.7)
C. 学納金の適切性	247 (100.0)	58 (23.5)	92 (37.2)	97 (39.3)
D. 奨学金制度の充実	247 (100.0)	32 (13.0)	109 (44.1)	106 (42.9)
E. 教授・講師陣の充実	247 (100.0)	65 (26.3)	83 (33.6)	99 (40.1)
F. 卒業生の就職先や就職率	247 (100.0)	148 (59.9)	53 (21.5)	46 (18.6)
G. 教育目標	247 (100.0)	50 (20.2)	100 (40.5)	97 (39.3)
H. 教育課程や授業内容	247 (100.0)	121 (49.0)	58 (23.5)	68 (27.5)
I. 学びたいゼミ・研究室がある	247 (100.0)	85 (34.4)	67 (27.1)	95 (38.5)
J. 免許、資格等の取得	247 (100.0)	88 (35.6)	85 (34.4)	74 (30.0)
K. 学科・コース構成	247 (100.0)	184 (74.5)	44 (17.8)	19 (7.7)
L. クラブ・サークル活動	247 (100.0)	36 (14.6)	123 (49.8)	88 (35.6)
M. 留学や単位互換制度の充実	247 (100.0)	22 (8.9)	114 (46.2)	111 (44.9)
N. 自分に適した入試制度がある	247 (100.0)	141 (57.1)	67 (27.1)	39 (15.8)
O. 入試の難易度が自分に合う	247 (100.0)	195 (78.9)	39 (15.8)	13 (5.3)
P. 建物（校舎、キャンパス）	247 (100.0)	31 (12.6)	132 (53.4)	84 (34.0)
Q. 教育設備（図書館、情報機器）	247 (100.0)	43 (17.4)	102 (41.3)	102 (41.3)
R. 通学の利便性	247 (100.0)	50 (20.2)	129 (52.2)	68 (27.5)
S. 自分自身の希望	247 (100.0)	180 (72.9)	67 (27.1)	
T. 周囲の薦め	247 (100.0)	130 (52.6)	117 (47.4)	

注：()内はサンプル数を100とした割合

<「決め手になった」割合が高い順>

問4. 本学受験の決め手となったのは何ですか

	決め手になった	決め手にはならなかった	詳しくは知らなかった
O. 入試の難易度が自分に合う	78.9	15.8	5.3
K. 学科・コース構成	74.5	17.8	7.7
S. 自分自身の希望	72.9	27.1	
F. 卒業生の就職先や就職率	59.9	21.5	18.6
N. 自分に適した入試制度がある	57.1	27.1	15.8
T. 周囲の薦め	52.6	47.4	
H. 教育課程や授業内容	49.0	23.5	27.5
J. 免許、資格等の取得	35.6	34.4	30.0
I. 学びたいゼミ・研究室がある	34.4	27.1	38.5
A. 大学のブランドやイメージ	33.2	30.8	36.0
E. 教授・講師陣の充実	26.3	33.6	40.1
C. 学納金の適切性	23.5	37.2	39.3
G. 教育目標	20.2	40.5	39.3
R. 通学の利便性	20.2	52.2	27.5
Q. 教育設備（図書館、情報機器）	17.4	41.3	41.3
B. 大学ランキングにおける評価	16.6	45.7	37.7
L. クラブ・サークル活動	14.6	49.8	35.6
D. 奨学金制度の充実	13.0	44.1	42.9
P. 建物（校舎、キャンパス）	12.6	53.4	34.0
M. 留学や単位互換制度の充実	8.9	46.2	44.9

問5 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度

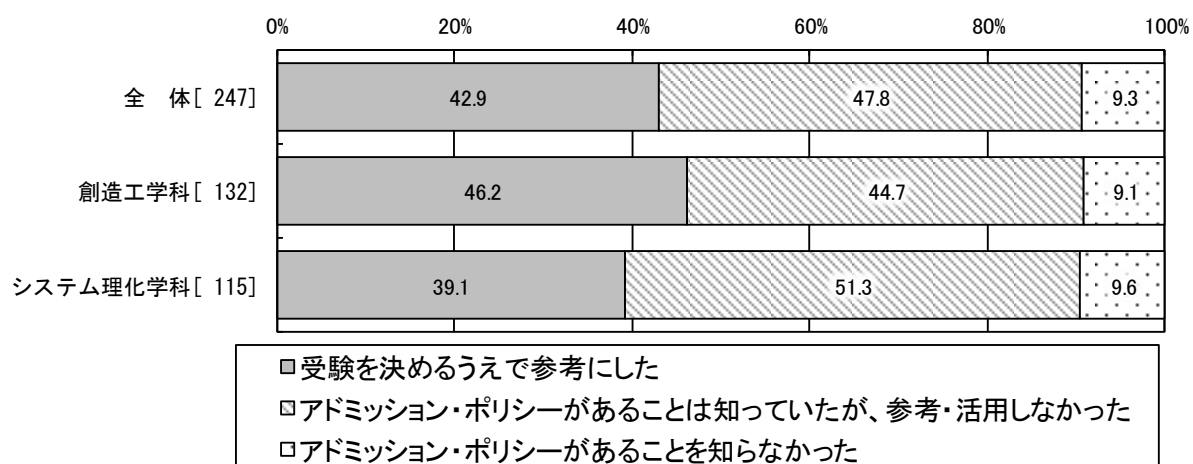
下図表は、受験時の本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度についての回答結果である。

全体として「受験を決めるうえで参考にした」のは42.9%、「アドミッション・ポリシーがあることは知っていたが、参考・活用しなかった」が47.8%、「アドミッション・ポリシーがあることを知らなかった」のは9.3%となっている。

問5. 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)について選択してください

	受験を決めるうえで参考にした	アドミッション・ポリシーがあることは知っていたが、参考・活用しなかった	アドミッション・ポリシーがあることを知らなかった
全体[247]	42.9	47.8	9.3
創造工学科[132]	46.2	44.7	9.1
システム理化学科[115]	39.1	51.3	9.6

問5. 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)について選択してください



<経年変化>

問5. 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)について選択してください

	受験を決めるうえで参考にした	アドミッション・ポリシーがあることは知っていたが、参考・活用しなかった	アドミッション・ポリシーがあることを知らなかった	無回答
2020年度[107]	36.4	43.9	18.7	0.9
2021年度[326]	39.0	46.0	15.0	—
2022年度[247]	42.9	47.8	9.3	—

問6 本学受験や入学前に、知っておきたかったこと(自由記述)

入学前に、知っておきたかったことについては、「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問7 本学受験の入試区分

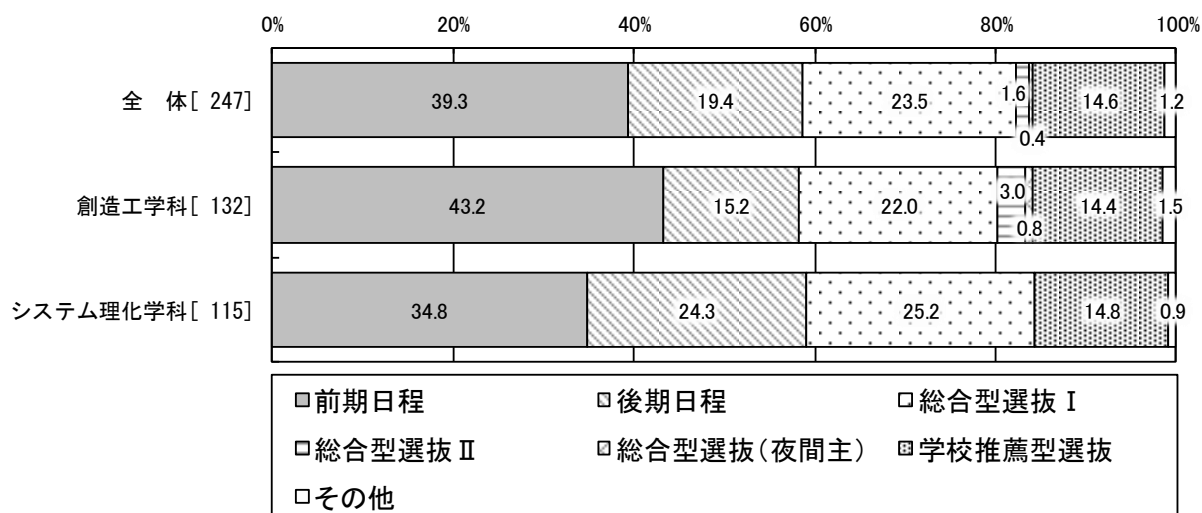
受験の際の入試区分については、全体としては「前期日程」が39.3%となっている。

「総合型選抜Ⅰ」、「総合型選抜Ⅱ」を合わせた割合は25.1%である。

問7. 本学受験の入試区分は何でしたか

	前期日程	後期日程	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	総合型選抜(夜間主)	学校推薦型選抜	その他
全体[247]	39.3	19.4	23.5	1.6	0.4	14.6	1.2
創造工学科[132]	43.2	15.2	22.0	3.0	0.8	14.4	1.5
システム理化学科[115]	34.8	24.3	25.2	—	—	14.8	0.9

問7. 本学受験の入試区分は何でしたか



<経年変化>

問7. 本学受験の入試区分は何でしたか

	前記日程	後期日程	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	総合型選抜(夜間主)	学校推薦型選抜	その他	推薦Ⅰ(～2021年度)	推薦Ⅱ(～2021年度)	無回答
2017年度[608]	49.8	16.4	—	—	—	—	2.3	13.0	14.5	3.9
2018年度[623]	48.6	14.0	—	—	—	—	2.6	14.0	19.3	1.6
2019年度[590]	50.0	11.5	—	—	—	—	3.7	18.8	14.9	1.0
2020年度[107]	41.1	13.1	—	—	—	—	5.6	23.4	15.9	0.9
2021年度[326]	42.9	15.0	21.5	2.1	0.0	16.3	2.1	—	—	—
2022年度[247]	39.3	19.4	23.5	1.6	0.4	14.6	1.2	—	—	—

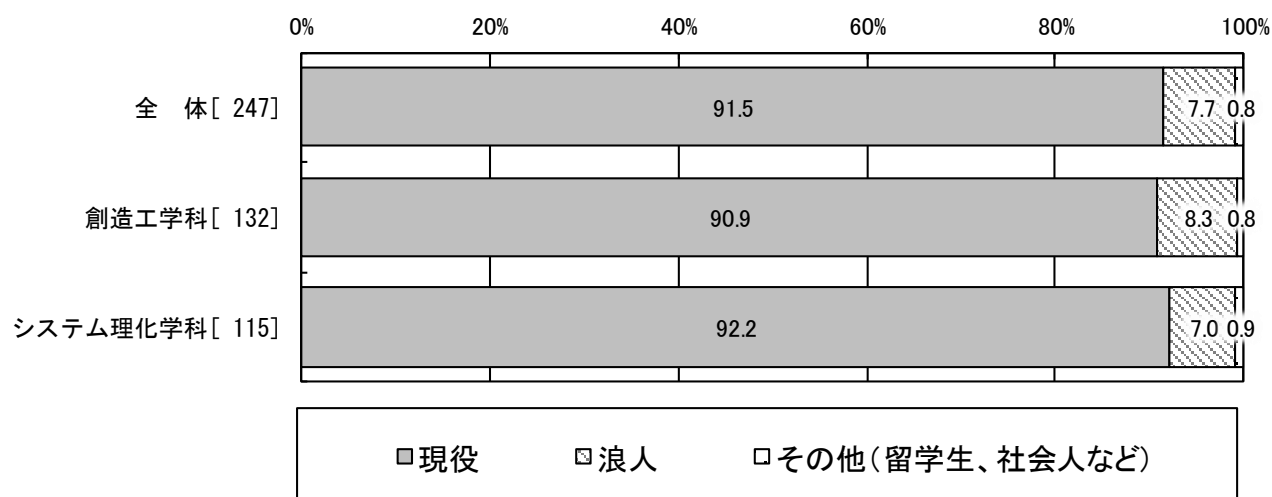
問8 入学の際の現役・浪人等の区分

全体としては現役での入学が91.5%となっている。本設問を実施した6年間の経年変化も掲載した。

問8. 現役で入学しましたか、それとも浪人しましたか

	現役	浪人	その他（留学生、社会人など）
全体[247]	91.5	7.7	0.8
創造工学科[132]	90.9	8.3	0.8
システム理化学科[115]	92.2	7.0	0.9

問8. 現役で入学しましたか、それとも浪人しましたか



<経年変化>

問8. 現役で入学しましたか、それとも浪人しましたか

	現役	浪人	その他（留学生、社会人など）	無回答
2017年度[608]	79.1	14.8	2.8	3.3
2018年度[623]	83.8	11.4	3.5	1.3
2019年度[590]	83.7	11.7	3.9	0.7
2020年度[107]	81.3	10.3	7.5	0.9
2021年度[326]	86.8	10.4	2.8	—
2022年度[247]	91.5	7.7	0.8	—

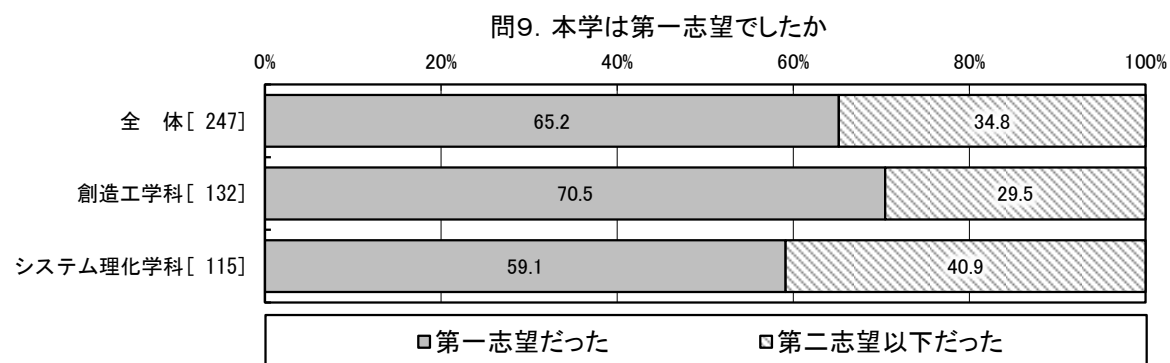
問9 第一志望の是非と他に受験した大学・学部等

「本学は第一志望でしたか」との設問に、全体としては「第一志望だった」(65.2%)、「第二志望以下だった」(34.8%)という回答結果であった。創造工学科とシステム理化学科で差異もある。

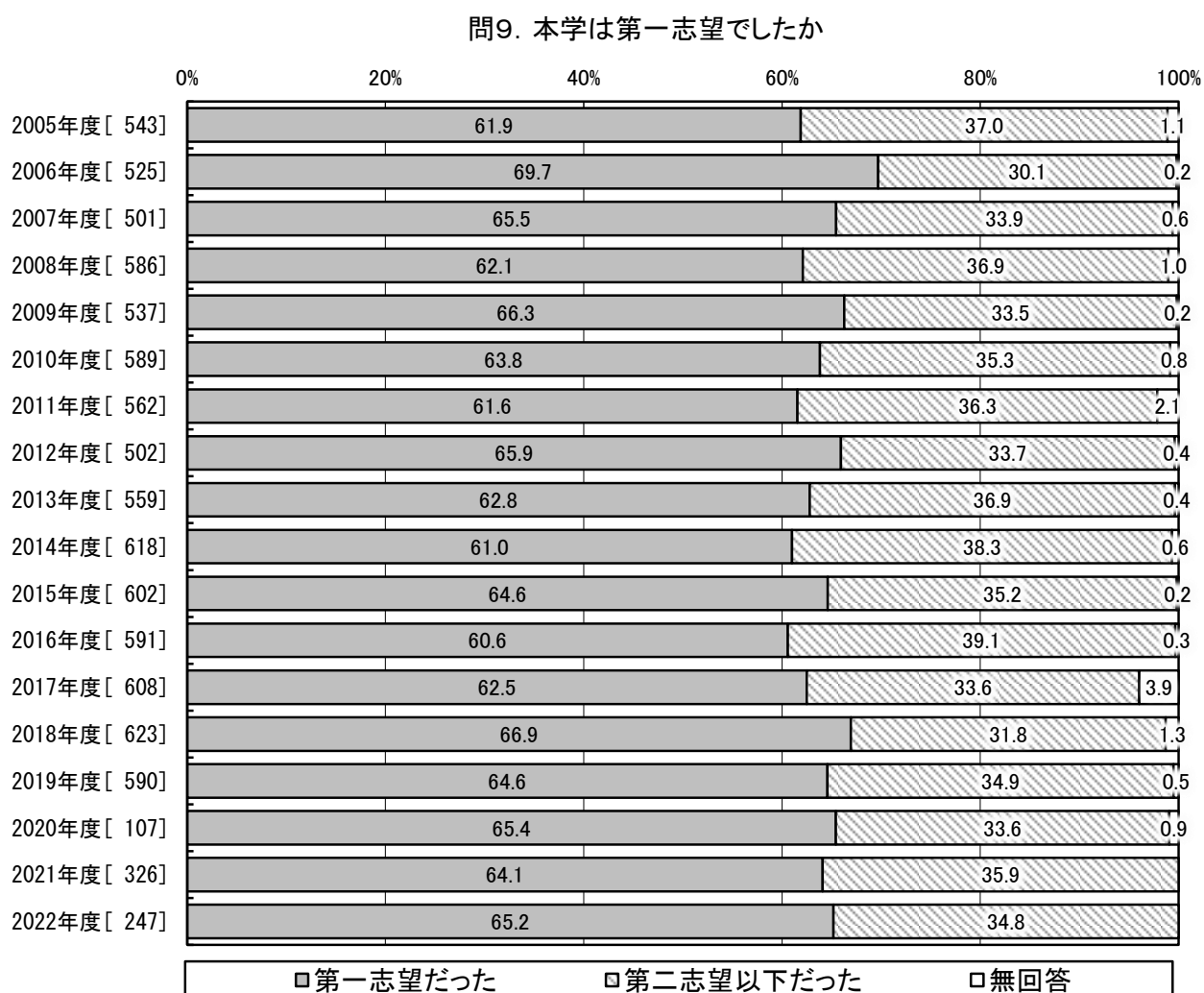
参考までに全体の経年変化を下段に掲載した。

受験した他大学で3件以上自由記述に記載された大学を次ページに掲載した。

詳細は自由記述の個別記載事項は「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。



<経年変化>



<他に受験した大学で3件以上の記載大学名>

問9. 本学は第一志望でしたか 他に受験した大学・学部等をお聞かせください	記載件数
大学名	
公立千歳科学技術大学	11
弘前大学	7
信州大学	3
北海学園大学	3
北海道大学	13

Ⅱ. 学生生活・教育環境について

問10 窓口・学生サービス等の満足度

窓口や学生サービス等については、下図表のとおり「利用したことがない」割合にバラツキが見られ、学生の入学以後の利用状況が概観できる。「肯定的意見」は「満足である」「普通」の合計とした。

概観すれば全体として各窓口・学生サービスともに普通以上の満足度となっているといえよう。

尚、図書館の利用者が少なく、満足度が低いのはリニューアル工事のためだと推測される。窓口、学生サービスごとの特に気づいた点に関しては15件の具体的な記述があるので、「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問10. 以下の窓口や学生サービス対応について、満足度をお聞かせください

A. 学生支援センター

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体[247]	25.9	42.5	6.5	25.1	247	185	169	91.4%
創造工学科[132]	27.3	39.4	8.3	25.0	132	99	88	88.9%
システム理化学科[115]	24.3	46.1	4.3	25.2	115	86	81	94.2%

B. 図書館

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体[247]	4.5	6.9	5.7	83.0	247	42	28	66.7%
創造工学科[132]	5.3	6.8	6.8	81.1	132	25	16	64.0%
システム理化学科[115]	3.5	7.0	4.3	85.2	115	17	12	70.6%

C. 学生相談室

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体[247]	3.2	10.1	0.8	85.8	247	35	33	94.3%
創造工学科[132]	2.3	12.1	0.8	84.8	132	20	19	95.0%
システム理化学科[115]	4.3	7.8	0.9	87.0	115	15	14	93.3%

D. 保健管理センター

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体[247]	17.0	30.0	0.4	52.6	247	117	116	99.1%
創造工学科[132]	18.9	31.1	0.8	49.2	132	67	66	98.5%
システム理化学科[115]	14.8	28.7	—	56.5	115	50	50	100.0%

問10. 以下の窓口や学生サービス対応について、満足度をお聞かせください A. ～D. 平均値

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体(988)	12.7	22.4	3.3	61.6	988	379	346	91.3%
創造工学科(528)	13.4	22.3	4.2	60.0	528	211	189	89.6%
システム理化学科(460)	11.7	22.4	2.4	63.5	460	168	157	93.5%

問11 問10以外の大学側のサポート(支援)体制・サービス内容・メニュー

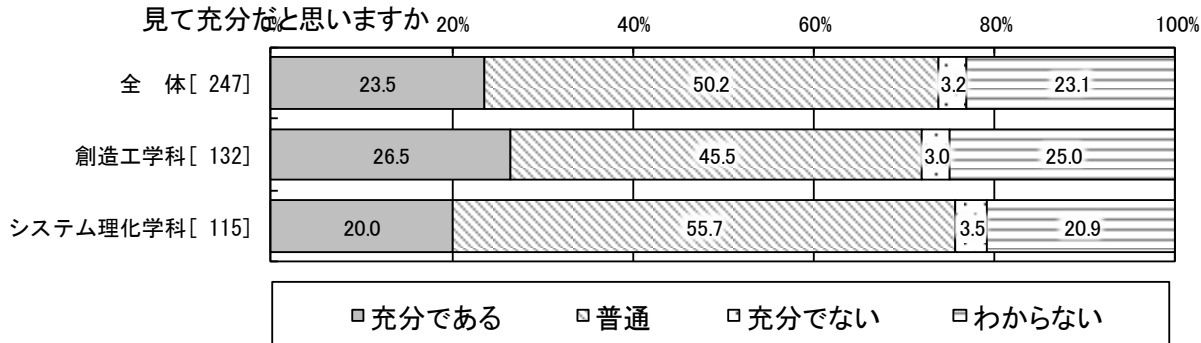
問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューが「充分である」と答えた学生の割合は23.5%、「普通」50.2%を加えると73.7%となっている。

一方、「充分でない」と回答した学生が記載した理由としては、具体的記述として3件が記載されているので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問11. 問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか

	充分である	普通	充分でない	わからない	肯定的意見
全体[247]	23.5	50.2	3.2	23.1	73.7
創造工学科[132]	26.5	45.5	3.0	25.0	72.0
システム理化学科[115]	20.0	55.7	3.5	20.9	75.7

問11. 問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか



<経年変化>

問11. 問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか

	充分である	普通	充分でない	わからない	無回答	肯定的意見
2005年度[543]	7.9	66.1	5.2	19.7	1.1	74.0
2006年度[525]	8.2	71.4	4.2	15.6	0.6	79.6
2007年度[501]	13.0	64.1	4.2	17.8	1.0	77.0
2008年度[586]	13.8	65.5	3.4	16.6	0.7	79.4
2009年度[537]	12.7	68.9	3.0	14.9	0.6	81.6
2010年度[589]	12.6	68.9	3.4	14.4	0.7	81.5
2011年度[562]	16.7	68.0	4.1	10.9	0.4	84.7
2012年度[502]	19.5	69.3	2.6	8.4	0.2	88.8
2013年度[559]	20.9	65.8	4.7	8.1	0.5	86.8
2014年度[618]	17.8	69.1	2.8	10.2	0.2	86.9
2015年度[602]	24.1	67.1	2.5	6.0	0.3	91.2
2016年度[591]	18.6	66.5	4.6	10.2	0.2	85.1
2017年度[608]	24.7	53.9	4.3	13.5	3.6	78.6
2018年度[623]	25.0	55.7	4.2	13.8	1.3	80.7
2019年度[590]	30.5	51.0	3.2	14.6	0.7	81.5
2020年度[107]	23.4	46.7	3.7	24.3	1.9	70.1
2021年度[326]	29.1	45.4	1.8	23.6	—	74.5
2022年度[247]	23.5	50.2	3.2	23.1	—	73.7

問12 学習支援の仕組みやサービス、施設・教育機材等の満足度

学習支援サービスや施設・教育機材等の満足度については、下図表のとおり項目により「利用したことがない」学生も多い。下段図表＜利用者からの回答割合＞でみると、「満足である」「普通」を合わせた「肯定的意見」の割合は、図書館関連以外の満足度は概ね94%以上となっている。

尚、問10でも記載したが図書館についての利用者が少数なこと、利用者の満足度が低いのはリニューアル工事のためだと推測される。

「不満である」と回答した学生の具体的記述が18件あるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

問12. 本学における以下の仕組みや施設・教育機材等について、どれくらい満足していますか

	満足である	普通	不満である	利用したことがない
A. チューター（教員との面談）制度	37.7	41.3	2.8	18.2
B. オフィスアワー	13.8	17.0	2.0	67.2
C. 学生便覧	31.6	61.1	2.8	4.5
D. シラバス	29.6	64.8	5.3	0.4
E. キャンパス・スクエア	37.2	57.9	4.0	0.8
F. 図書館の資料	3.6	8.5	4.5	83.4
G. 図書館の検索機能	4.0	8.5	2.0	85.4
H. 図書館の施設・設備	2.4	6.9	5.3	85.4
I. 講義室、実験実習施設等	27.5	62.3	2.4	7.7
J. PC、プロジェクター等の教育機器	25.5	53.0	2.0	19.4
K. 大学会館等の福利厚生施設	24.7	45.3	2.8	27.1

＜利用者からの回答割合＞

	満足である	普通	不満である	肯定的意見
A. チューター（教員との面談）制度	46.0	50.5	3.5	96.5
B. オフィスアワー	42.0	51.9	6.2	93.8
C. 学生便覧	33.1	64.0	3.0	97.0
D. シラバス	29.7	65.0	5.3	94.7
E. キャンパス・スクエア	37.6	58.4	4.1	95.9
F. 図書館の資料	22.0	51.2	26.8	73.2
G. 図書館の検索機能	27.8	58.3	13.9	86.1
H. 図書館の施設・設備	16.7	47.2	36.1	63.9
I. 講義室、実験実習施設等	29.8	67.5	2.6	97.4
J. PC、プロジェクター等の教育機器	31.7	65.8	2.5	97.5
K. 大学会館等の福利厚生施設	33.9	62.2	3.9	96.1

問13 本学の情報化への対応の印象

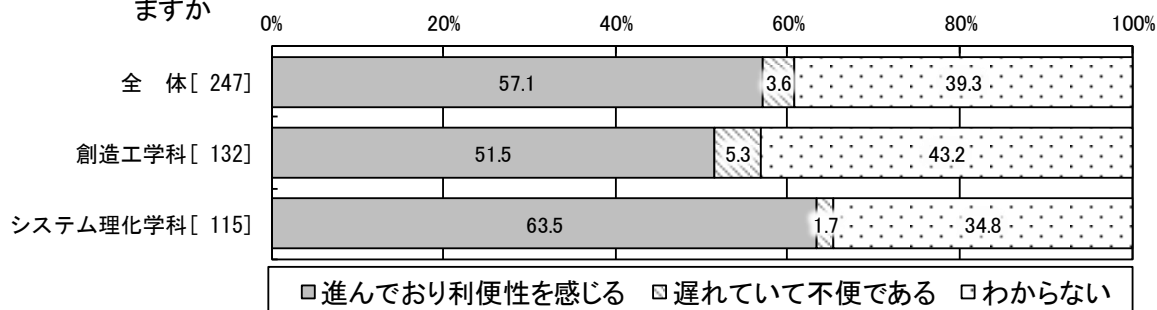
本学の情報化への対応(各種案内や手続きの電子化)について、「進んでおり利便性を感じる」という学生は全体として57.1%、「遅れていて不便である」という否定的回答の割合は3.6%である。一方、「わからない」という回答が39.3%ある。

「遅れていて不便である」と回答した学生(4.3%)からの「改善すべき点」について2件の記述があるので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問13. 本学の情報化への対応(各種案内や手続きの電子化)について、どう感じていますか

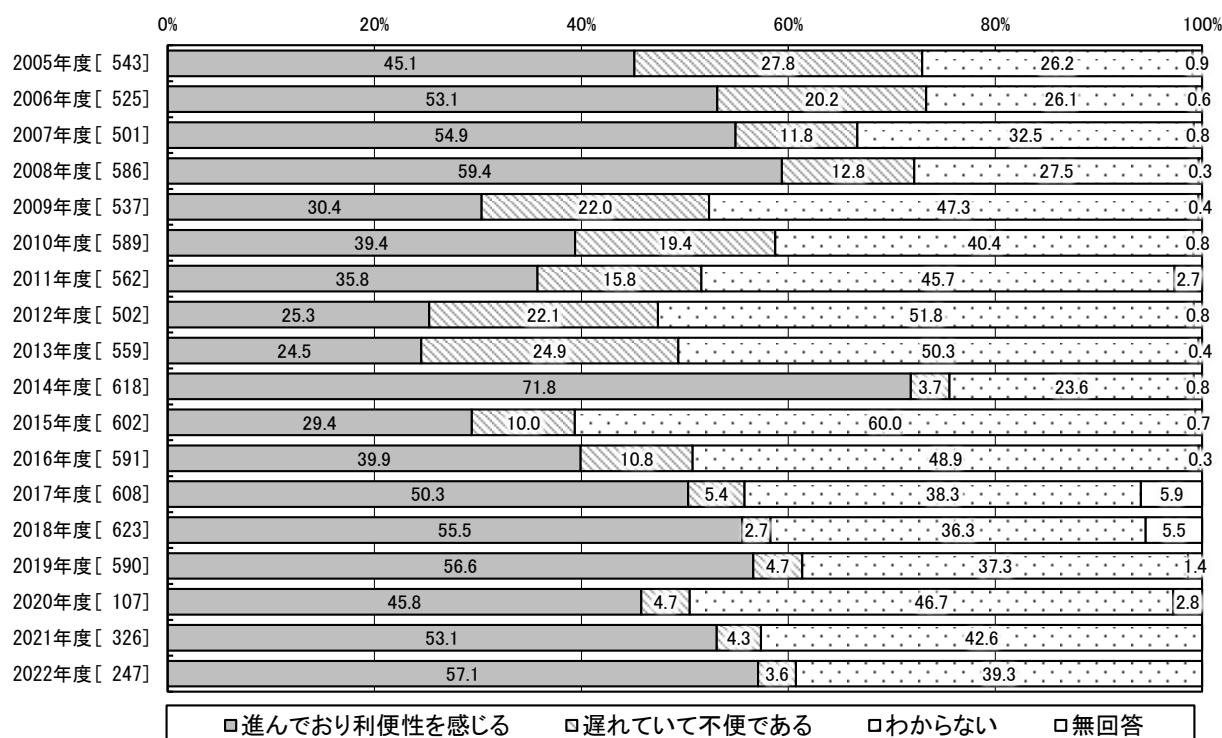
	進んでおり利便性を感じる	遅れていて不便である	わからない
全体[247]	57.1	3.6	39.3
創造工学科[132]	51.5	5.3	43.2
システム理化学科[115]	63.5	1.7	34.8

問13. 本学の情報化への対応(各種案内や手続きの電子化)について、どう感じていますか



<経年変化>

問13. 本学の情報化への対応(各種案内や手続きの電子化)について、どう感じていますか



Ⅲ. 海外留学・進学意向と遠隔授業・学生生活全般

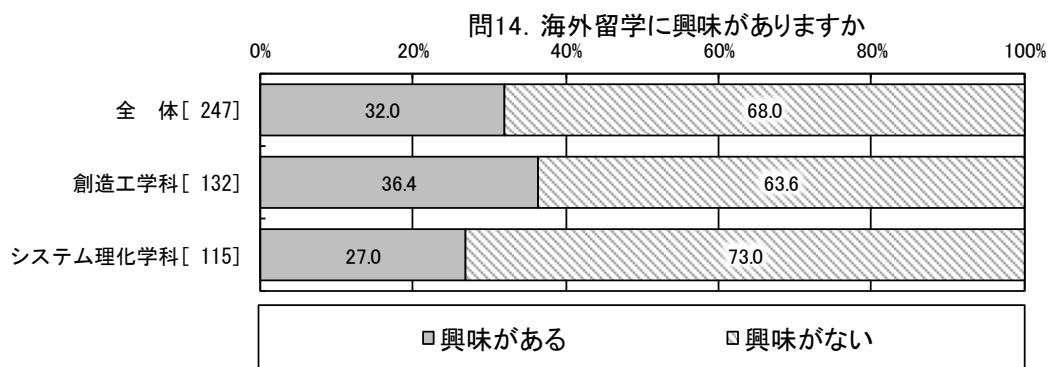
問14 海外留学への興味

海外留学への興味についての設問である。

全体として「興味がある」と回答した学生は32.0%。経年変化でみると2019年度39.3%まで上昇、昨年(2021年度)度は37.4%であった。

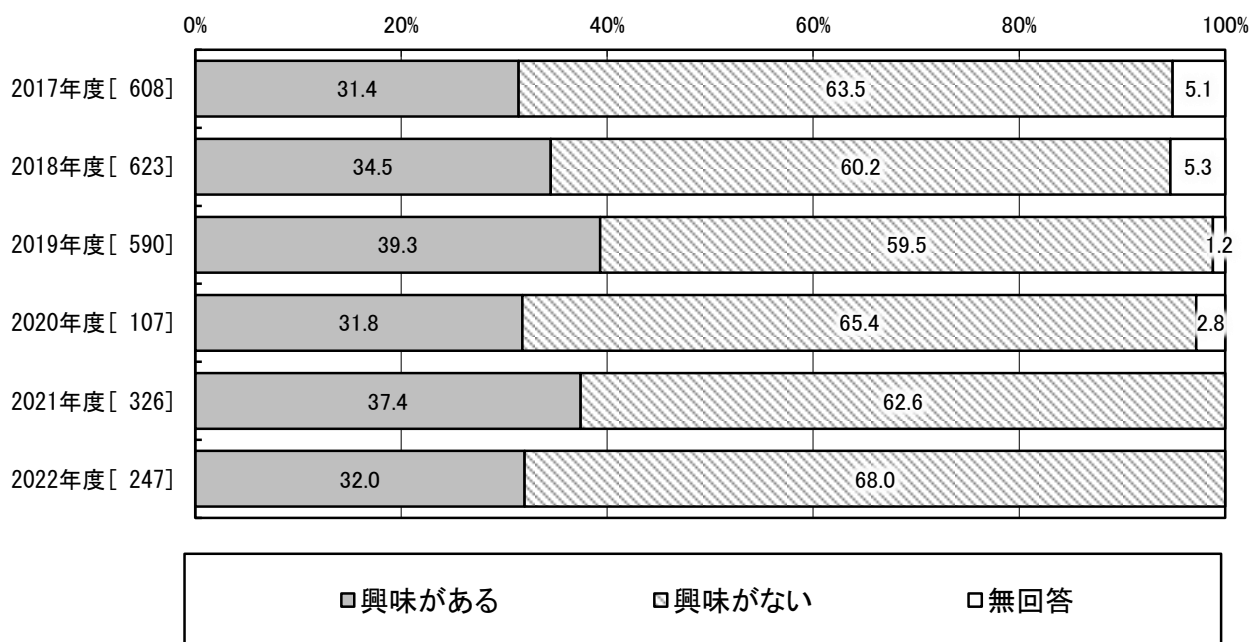
問14. 海外留学に興味がありますか

	興味がある	興味がない
全体[247]	32.0	68.0
創造工学科[132]	36.4	63.6
システム理化学科[115]	27.0	73.0



<経年変化>

問14. 海外留学に興味がありますか



問14付問 海外留学の期間

海外留学への興味があると回答した学生についてのどのくらいの期間の留学について関心があるかを聞いた付問である。

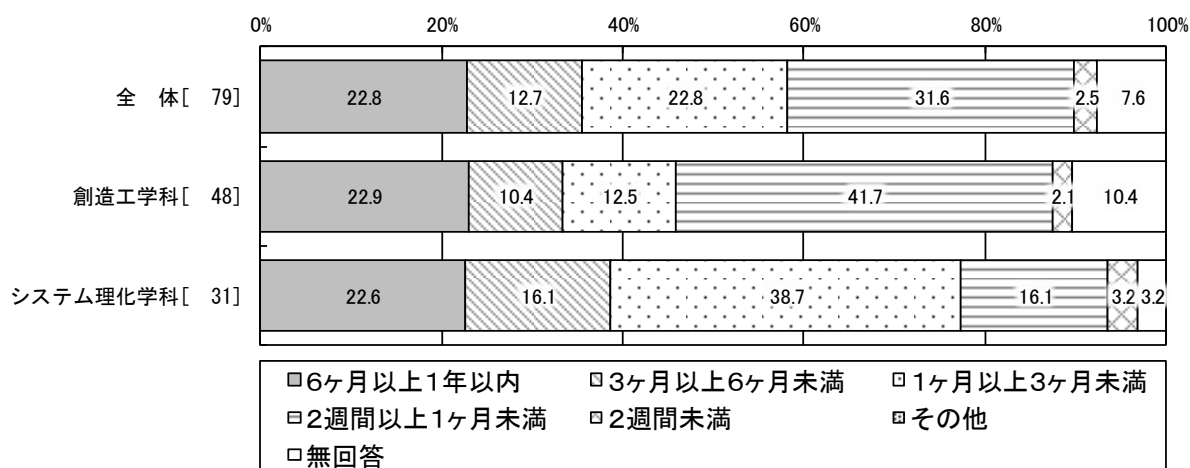
もっとも興味があるのは、全体としては「2週間以上1か月未満」(31.6%)、次いで「6ヶ月以上1年以内」(22.8%)、同率で「1ヶ月以上3ヶ月未満」(22.8%)となっている。

学科により関心のある期間に差異もみられる。

問14. (「1. 興味がある」と回答した方) どのくらいの期間の留学に関心がありますか

	6ヶ月以上1年以内	3ヶ月以上6ヶ月未満	1ヶ月以上3ヶ月未満	2週間以上1ヶ月未満	2週間未満	その他	無回答
全体[79]	22.8	12.7	22.8	31.6	2.5	—	7.6
創造工学科[48]	22.9	10.4	12.5	41.7	2.1	—	10.4
システム理化学科[31]	22.6	16.1	38.7	16.1	3.2	—	3.2

問14. (「1. 興味がある」と回答した方) どのくらいの期間の留学に関心がありますか



<経年変化>

問14. (「1. 興味がある」と回答した方) どのくらいの期間の留学に関心がありますか

	6ヶ月以上1年以内	3ヶ月以上6ヶ月未満	1ヶ月以上3ヶ月未満	2週間以上1ヶ月未満	2週間未満	その他	無回答
2020年度[34]	35.3	17.6	29.4	14.7	—	—	2.9
2021年度[122]	24.6	12.3	23.8	27.0	7.4	—	4.9
2022年度[79]	22.8	12.7	22.8	31.6	2.5	—	7.6

問15 大学(学士課程)卒業後の大学院への進学意向

大学(学士課程)卒業後に大学院へ進学したいと考えている割合は、全体としては39.3%。創造工学科41.7%、システム理化学科36.5%である。

進学したくないと回答した理由については、全体としては「早く就職して社会で活躍したいから」71.4%、「経済的な理由」22.9%となっている。

問15. 大学（学士課程）卒業後に大学院へ進学したいと考えていますか

	進学したい	進学したくない	まだ、考えていない
全体[247]	39.3	14.2	46.6
創造工学科[132]	41.7	15.2	43.2
システム理化学科[115]	36.5	13.0	50.4

<経年変化>

問15. 大学（学士課程）卒業後に大学院へ進学したいと考えていますか

	進学したい	進学したくない	まだ、考えていない	無回答
2019年度[590]	40.0	18.3	40.5	1.2
2020年度[107]	33.6	15.0	48.6	2.8
2021年度[326]	37.1	16.0	46.9	—
2022年度[247]	39.3	14.2	46.6	—

【進学したくない理由】

問15. （「2. 進学したくない」と回答した方）進学したくない理由を教えてください

	早く就職して社会で活躍したいから	経済的な理由	その他
全体[35]	71.4	22.9	5.7
創造工学科[20]	70.0	20.0	10.0
システム理化学科[15]	73.3	26.7	—

問16 遠隔授業の内容、全体の満足度

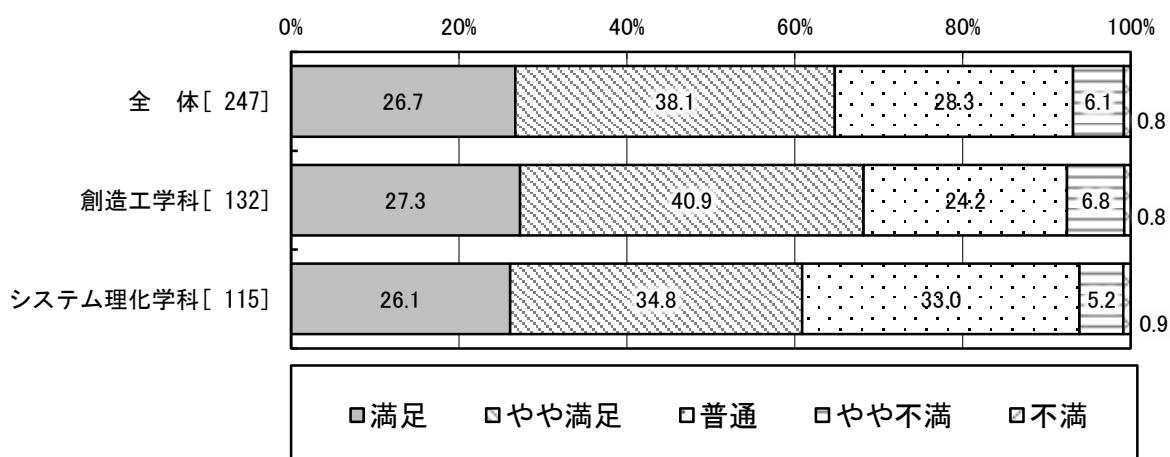
新型コロナウイルスの影響で実施に至った遠隔授業の内容、全体の満足度に関する設問である。
下段に2020年度からの調査結果を掲載した。

全体として「満足」+「やや満足」との回答は64.8%（前年度65.0%）、「満足」+「やや満足」+「普通」でみると93.1%（前年度91.7%）となっている。

問16. 遠隔授業の内容は全体的に満足でしたか

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足+やや満足	満足+やや満足+普通
全体[247]	26.7	38.1	28.3	6.1	0.8	64.8	93.1
創造工学科[132]	27.3	40.9	24.2	6.8	0.8	68.2	92.4
システム理化学科[115]	26.1	34.8	33.0	5.2	0.9	60.9	93.9

問16. 遠隔授業の内容は全体的に満足でしたか



<経年比較>

問16. 遠隔授業の内容は全体的に満足でしたか

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	満足+やや満足	満足+やや満足+普通
2020年度[107]	15.0	32.7	29.9	15.9	3.7	2.8	47.7	77.6
2021年度[326]	23.3	41.7	26.7	7.4	0.9	—	65.0	91.7
2022年度[247]	26.7	38.1	28.3	6.1	0.8	—	64.8	93.1

問17 遠隔授業で良かった点

新型コロナウイルスの影響で実施に至った遠隔授業に関して良かった点を聞いた設問である。

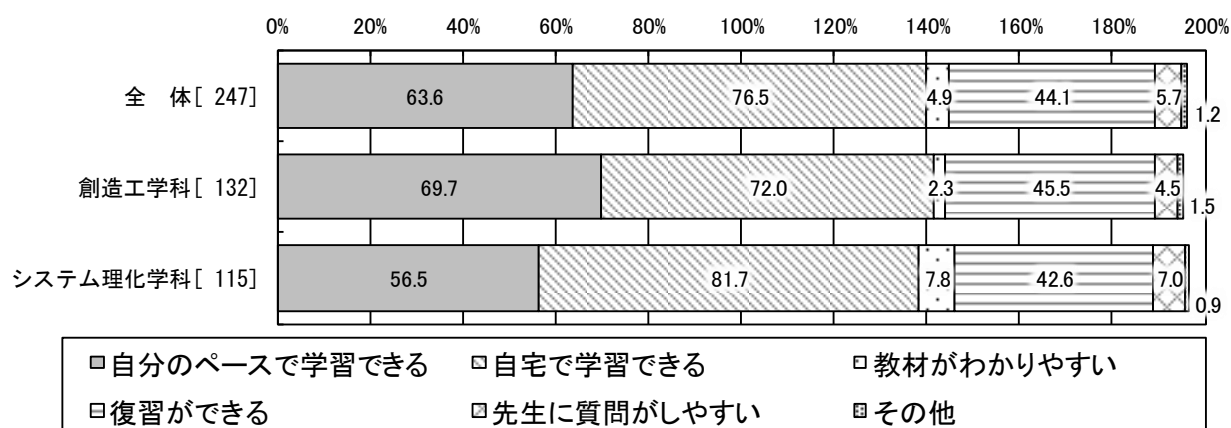
選択割合が高い上位3項目は「自宅で学習できる」(76.5%)、「自分のペースで学習できる」(63.6%)、「復習ができる」(44.1%)となっている。

その他で良かったことについて14件の具体的な記述があるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

問17. 遠隔授業でよかったことは何ですか（複数回答可）

	1. で自 学分 習の でペ きし るス	2. き自 宅 で 学 習 で	3. や教 す材 いが わか り	4. 復 習 が で き る	5. し先 や生 すに い質 問 が	6. そ の 他
全 体[247]	63.6	76.5	4.9	44.1	5.7	1.2
創造工学科[132]	69.7	72.0	2.3	45.5	4.5	1.5
システム理化学科[115]	56.5	81.7	7.8	42.6	7.0	0.9

問17. 遠隔授業でよかったことは何ですか（複数回答可）



<経年比較>

問17. 遠隔授業でよかったことは何ですか（複数回答可）

	1. で自 学分 習の でペ きし るス	2. き自 宅 で 学 習 で	3. や教 す材 いが わか り	4. 復 習 が で き る	5. し先 や生 すに い質 問 が	6. そ の 他	7. 無 回 答
2020年度[107]	75.7	77.6	13.1	57.0	9.3	1.9	2.8
2021年度[326]	73.0	77.9	9.8	51.2	11.0	1.8	—
2022年度[247]	63.6	76.5	4.9	44.1	5.7	1.2	—

問18 遠隔授業で困ったこと

新型コロナウイルスの影響で実施に至った遠隔授業に関して困ったことを聞いた設問である。

選択割合が高い上位3項目は「集中力が続かない」(59.5%)、「先生に質問がしにくい」(23.1%)、「教材が分かりにくい」(21.1%)と続いている。

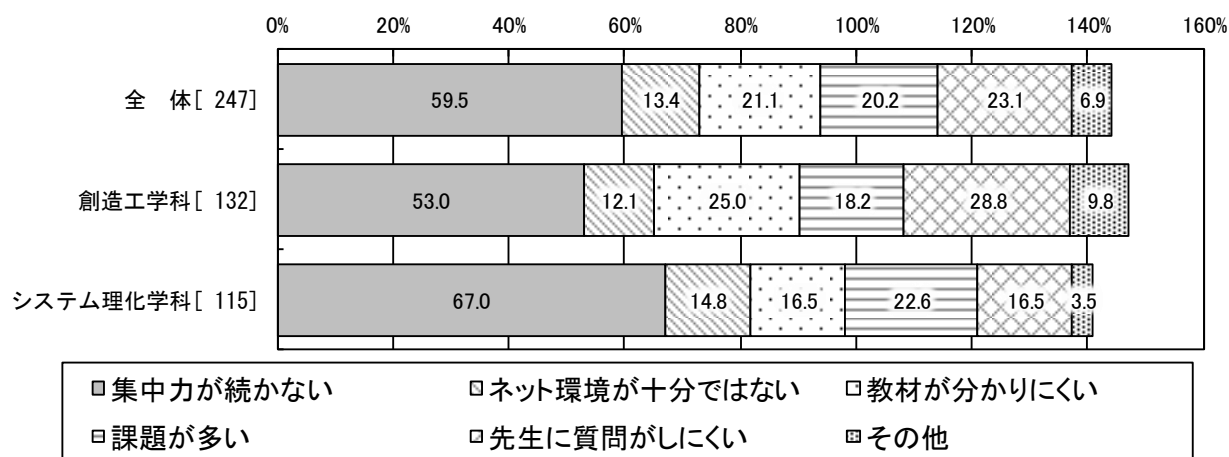
「ネット環境が充分ではない」については、前年比で概ね半減し13.4%となっている。

その他で困ったことについて18件の具体的な記述があるので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問18. 遠隔授業で困ったことは何ですか（複数回答可）

	1. 集中力が続かない	2. ネット環境が十分ではない	3. 教材が分かりにくい	4. 課題が多い	5. 先生に質問がしにくい	6. その他
全体[247]	59.5	13.4	21.1	20.2	23.1	6.9
創造工学科[132]	53.0	12.1	25.0	18.2	28.8	9.8
システム理化学科[115]	67.0	14.8	16.5	22.6	16.5	3.5

問18. 遠隔授業で困ったことは何ですか（複数回答可）



< 経年比較 >

問18. 遠隔授業で困ったことは何ですか（複数回答可）

	1. 集中力が続かない	2. ネット環境が十分ではない	3. 教材が分かりにくい	4. 課題が多い	5. 先生に質問がしにくい	6. その他	7. 無回答
2020年度[107]	47.7	23.4	29.0	54.2	31.8	10.3	2.8
2021年度[326]	60.1	25.5	23.9	31.9	24.8	7.1	—
2022年度[247]	59.5	13.4	21.1	20.2	23.1	6.9	—

問19 学生生活において不安なこと

新型コロナウイルスの影響下で学生生活を送っている学生の不安項目を聞いた設問である。

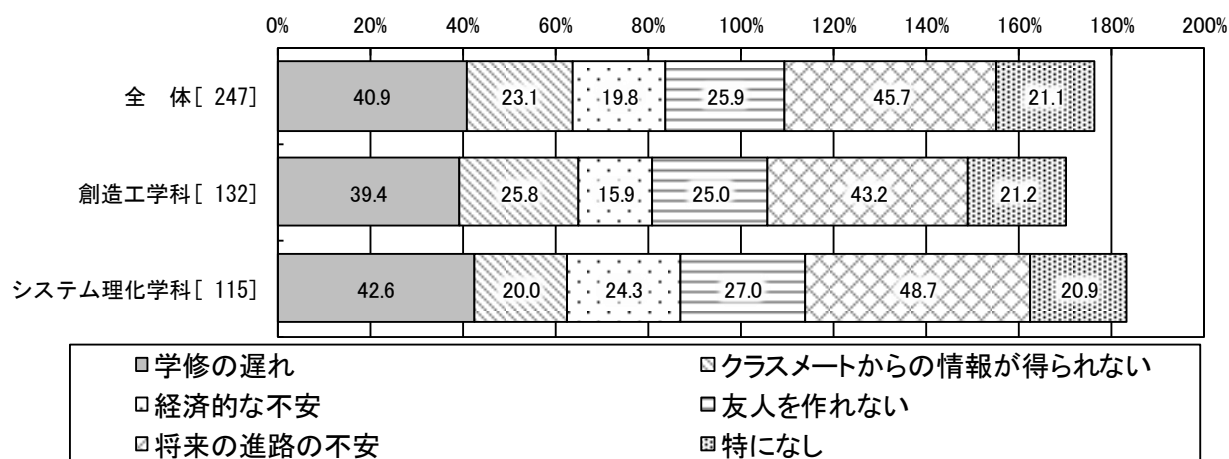
選択割合が高い順に「将来の進路の不安」(45.7%)、「学修の遅れ」(40.9%)、「友人を作れない」(25.9%)、「クラスメートからの情報が得られない」(23.1%)、「経済的な不安」(19.8%)となっている。

その他で不安なことについて6件の具体的な記述があるので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問19. 学生生活において不安なことは何ですか (複数回答可)

	1. 学修の遅れ	2. 得かからられぬ情報	3. 経済的な不安	4. い友人を作れない	5. 不将来の進路の不安	6. 特になし
全体 [247]	40.9	23.1	19.8	25.9	45.7	21.1
創造工学科 [132]	39.4	25.8	15.9	25.0	43.2	21.2
システム理化学科 [115]	42.6	20.0	24.3	27.0	48.7	20.9

問19. 学生生活において不安なことは何ですか (複数回答可)



<経年比較>

問19. 学生生活において不安なことは何ですか (複数回答可)

	1. 学修の遅れ	2. 得かからられぬ情報	3. 経済的な不安	4. い友人を作れない	5. 不将来の進路の不安	6. 特になし	7. 無回答
2020年度 [107]	41.1	38.3	18.7	40.2	51.4	11.2	2.8
2021年度 [326]	52.8	37.1	18.7	38.3	50.6	13.8	—
2022年度 [247]	40.9	23.1	19.8	25.9	45.7	21.1	—

問20 今後の大学からの支援に望むこと

今後、大学からどのような支援を望みますかという設問に関する回答である。

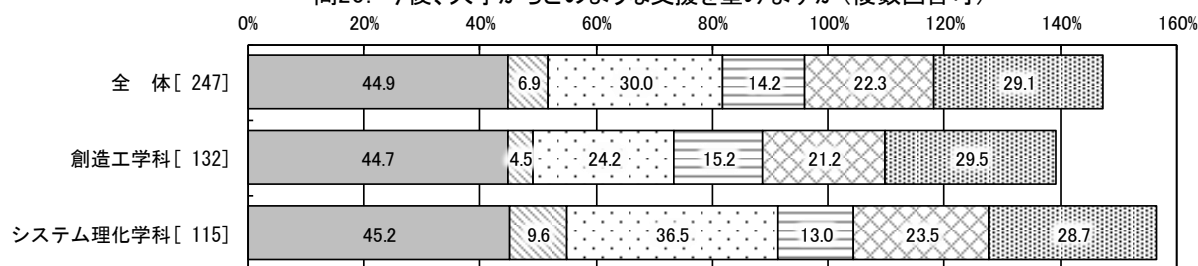
選択割合が高い順に「授業料の免除」(44.9%)、「大学内でのアルバイトの案内(ワークスタディなど)」(30.0%)、「学生への細やかな相談対応(チューター制度など)」(22.3%)、「遠隔授業のための受講環境支援」(14.2%)、「授業料の徴収猶予」(6.9%)となっている。

その他の支援希望事項については8件の具体的な記述があるので、「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問20. 今後、大学からどのような支援を望みますか(複数回答可)

	1. 授業料 免除	2. 猶授 予業 料の 徴収	3. 大内 学デ イワ イ内 なト どク の ス案 ア	4. 支め 遠援 の隔 受授 講業 環の 境た	5. 制へ か学 度チ な生 なユ 相へ どユ 談へ タ対 細 一 応や	6. 特 に な し
全 体[247]	44.9	6.9	30.0	14.2	22.3	29.1
創造工学科[132]	44.7	4.5	24.2	15.2	21.2	29.5
システム理化学科[115]	45.2	9.6	36.5	13.0	23.5	28.7

問20. 今後、大学からどのような支援を望みますか(複数回答可)



- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 授業料免除 | <input type="checkbox"/> 授業料の徴収猶予 |
| <input type="checkbox"/> 大学内でのアルバイトの案内(ワークスタディなど) | <input type="checkbox"/> 遠隔授業のための受講環境支援 |
| <input type="checkbox"/> 学生への細やかな相談対応(チューター制度など) | <input type="checkbox"/> 特になし |

< 経年比較 >

問20. 今後、大学からどのような支援を望みますか(複数回答可)

	1. 授業料 免除	2. 予授 業料 の徴 収猶	3. 大内 学デ イワ イ内 なト どク の ス案 の タ内 アル	4. の遠 受隔 講授 環業 境の 支た 援め	5. 度へ な学 チ相 生な どユ 談へ 一 対の タ 応細 一 制 か	6. 特 に な し	7. 無 回 答
2020年度[107]	52.3	15.0	29.9	25.2	31.8	18.7	2.8
2021年度[326]	44.2	8.6	35.6	18.7	21.8	25.5	—
2022年度[247]	44.9	6.9	30.0	14.2	22.3	29.1	—

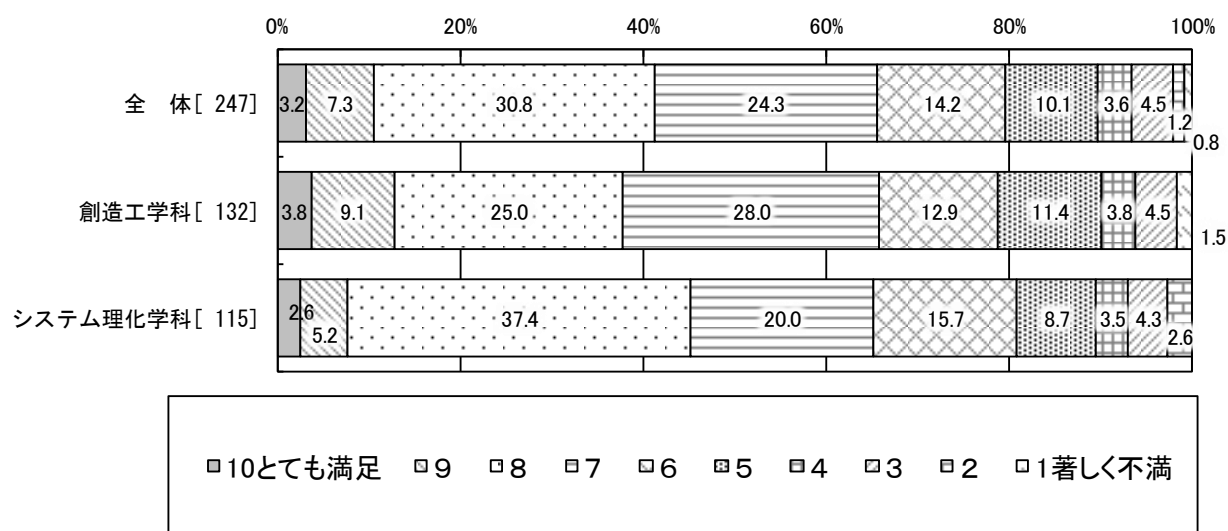
問21 入学から現在までの総合的な満足度

本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度にメリハリをつけて10段階で聞いた設問である。全体として最も選択割合が多いのは「レベル8」(30.8%)、次いで「レベル7」(24.3%)、「レベル6」(14.2%)となっている。また、2区分した場合の高いレベルになる「レベル6」以上は79.8%となっている。

問21. 本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度をメリハリをつけて、お聞かせください

	10とても満足	9	8	7	6	5	4	3	2	1著しく不満
全体[247]	3.2	7.3	30.8	24.3	14.2	10.1	3.6	4.5	1.2	0.8
創造工学科[132]	3.8	9.1	25.0	28.0	12.9	11.4	3.8	4.5	—	1.5
システム理化学科[115]	2.6	5.2	37.4	20.0	15.7	8.7	3.5	4.3	2.6	—

問21. 本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度をメリハリをつけて、お聞かせください



<経年比較>

問21. 本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度をメリハリをつけて、お聞かせください

	10とても満足	9	8	7	6	5	4	3	2	1著しく不満	無回答	6以上
2020年度[107]	2.8	3.7	19.6	22.4	21.5	10.3	9.3	4.7	1.9	0.9	2.8	70.1
2021年度[326]	5.2	6.4	26.7	23.6	17.2	13.5	2.8	3.4	0.6	0.6	—	79.1
2022年度[247]	3.2	7.3	30.8	24.3	14.2	10.1	3.6	4.5	1.2	0.8	—	79.8

室蘭工業大学 2022 年度新入生アンケート
集計結果報告書

2022 年 9 月

編著：一般社団法人日本能率協会
